

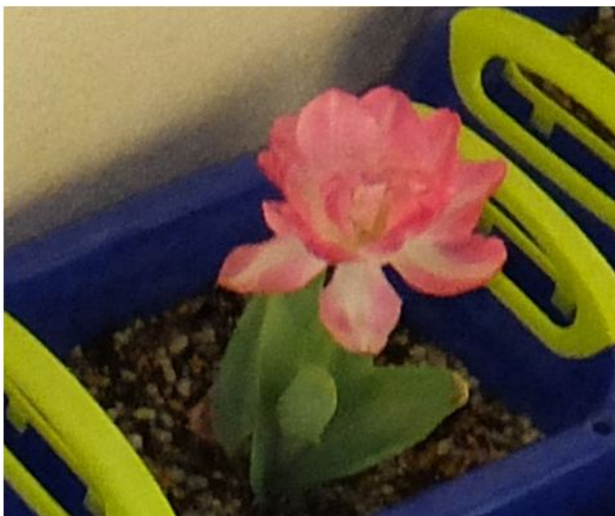
## 「チューリップの個性」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

2年生のベランダに、たくさんのチューリップの鉢があります。進級した2年生が、1年生の時に、大切に育てたチューリップです。



ズラリと仲良く並んでいます。音楽室に行くときに、教室の前に並んだ子どもたちのようです。



きれいに咲いているチューリップもあります。こういう八重咲きのものは、特に珍しいですね。



もう花卉が散って、茎だけになってしまったものもあります。でも、もうすぐ種子ができそうですね。



やっと芽生えたばかりの球根もあります。冬の間眠っていて、桜と一緒に、やっと目覚めたのでしょうか。



芽も出せずに萎んでしまった、かわいそうな球根もありました。寒い冬を越すことができず、暖かい春の前に、土に戻ろうとしているのです。

子どもの個性に決して優劣はありません。このチューリップも同じです。どの土にも、子どもたちの指のあとがあり、子どもたちの優しさが植えられているのです。教師はそれを感じとり、すべてのチューリップを等しく大切にしていあげなくてははいけません。